

Q&A ①～⑤



各種制度や意思伝達機器などを知っていますか

Q&A ① みなさんからの質問

脊髄小脳変性症の70代女性を担当していますが、症状に対応した(脊髄小脳変性症に特化した)リハビリを希望されています。そういったサービスはありますか。

病状の進行段階によって症状は異なるため、その方に合ったリハビリをするためには、理学療法士などの専門家に相談すると良いと思います。リハビリのサービスとしては、訪問リハビリ、通所リハビリ、機能訓練特化型のデイサービスなどがあります。



Q & A ②

ALSと診断され、受けられる助成はありますか？

- ①特定疾患医療費助成(保健所に申請する)
- ②高額医療費の還付制度(自身の保険証の保険者に請求する)
- ③障害者医療費助成制度(障害福祉課で身体障害者手帳の交付を受ける)
*条件:等級が該当する場合
- ④診断後1年半の症状に応じて、障害(厚生・基礎)年金を受給(65歳未満)
- ⑤生命保険の高度障害の状態になった時に保険金を受け取る

Q & A ③

指定難病受給者証でどのような助成を受けられますか？

- ①医療費自己負担額の助成が受けられる。(丸福より優先される。丸福非該当の方が利用できる)
- ②身体障害者手帳が非該当、介護保険サービス非該当の場合であっても、障害者総合支援法による障害福祉サービスが利用できる。(相談支援、介護給付、訓令等給付等)
- ③難病患者福祉金(月額3,000円)
- ④いばらき身障者等用駐車場利用証制度(PP)
- ⑤地域生活支援
(日常生活用具給付、日中一時預かりサービス等)
- ⑥補装具費の支給

Q & A ④

吸引・胃ろう・人工呼吸器を装着して療養できる施設や病院はありますか？

在宅難病患者一時入院事業(配布資料参照)



Q & A ⑤

意思伝達機器にはどのようなものがありますか。
貸出や購入はどのようにしたらよいでしょうか？

- ① 文字盤
- ② レッツチャット
- ③ 伝の心
- ④ トーキングエード
- ⑤ おりひめ
- ⑥ 送受信機よべーる
など

